

パウダックス防水標準施工仕様書

1. **適用箇所** : 浸透による漏水のおそれのある箇所、地下構築物のコンクリート面およびモルタル面等の防水を行なう工事。
 ①建築関係；地下壁面、地下受水槽、雑配槽、蓄熱槽、エレベーターピット、工場施設など。
 ②上下水道関係；貯水槽、浄水槽、沈澱槽、配水池、地下室、汚水処理槽など。
 ③土木関係；トンネルコンクリート覆工面、地下ピット、地下道など。
 ④農業用施設；水路
 ⑤その他；コンクリートの打継ぎ、ヒューム管への塗布。
2. **適用規格** : JASS8 T-301 「ケイ酸質塗布防水材」Iタイプ
3. **塗装仕様** :

工程	材料	希釈割合	所要量	塗回数	乾燥時間		
					工程内	工程間	
1	下地調整	(1)清掃、および、ハツリ ①コンクリート面に付着している土やホコリは十分に清掃して下さい。又、離型剤が付着している場合は洗い流して下さい。 ②突起物、レイトンス、硬化不良部分等は、サンダー、ケレン棒、ワイヤーブラシ等で除去した後、清掃して下さい。 ③コンクリート打継箇所、床と壁の取合部はVカットして下さい。 ④コンクリート表面に露出している番線、鉄筋等の突起物は、コンクリートを約3cmの深さにVカットし、切断して下さい。 ⑤ホームタイ（鉄製型枠止めボルト）は座金およびナットが取れる場合は外し、ボルトの突起部分は完全に除去して下さい。 ⑥コンクリート中の木片類は完全に除去して下さい。 ⑦ジャンカおよびコンクリートの亀裂部分は不良箇所をはつって下さい。					
2	前処理	(1)ハツリ箇所の充填 ③～⑦までの箇所は、 <u>パウダックス急結止水材</u> を充填して下さい。（別途急結止水材のカタログ参照） (2)止水処理 コンクリート下地に湧水、漏水箇所がある場合は、湧水、漏水箇所を十分にはつり、 <u>パウダックス急結止水材</u> を充填して下さい。（別途急結止水材のカタログ参照） (3)水養生 下地調整の終わったコンクリート面はパウダックスを塗布する前に必ず水養生（水湿し）を行って下さい。水養生は水道ホース、スプレー、刷毛のいずれかを使用し、湿し過ぎのないように均一に湿潤して下さい。（湿し過ぎると、パウダックスの濃度を薄めたり、付着不良の原因となります。）					
3	施 工	コテ塗り： パウダックス防水 清 水	25 kg 約 7.0 $\frac{kg}{m^2}$ (28%希釈)	約 1.5 $\frac{kg}{m^2}$	1	—	—
		吹き付け： パウダックス防水 清 水	25 kg 約 8.25 $\frac{kg}{m^2}$ (33%希釈)	約 1.5 $\frac{kg}{m^2}$	1	—	—
		刷毛塗り： パウダックス防水 清 水	25 kg 約 10 $\frac{kg}{m^2}$ (40%希釈)	約 1.5 $\frac{kg}{m^2}$	2	1時間以上 3日以内	—
4	養 生	①施工直後の塗り面は、直射日光や風などによる急激な乾燥を避け、必要に応じて散水養生、ぬれむしろ、シート養生などを行って下さい。 ②パウダックス防水塗布乾燥面にモルタル施工を行う場合は、水養生を行ってから施工して下さい。					

※ 吹き付け施工の場合、下地ピンホールからのフクレを抑えるため、必ずコテ押さえを行ってください。

4. 塗装方法 : 金コテ、万能ガン、ラスター刷毛または左官刷毛

5. 施工上の注意事項 :

【材料の保管・管理】

(1)材料は直射日光を避け、雨や雪などのかからない湿気の少ない所に保管し、床に直接置かないようにして下さい。

【施工】

(1)降雨、降雪が予想される場合、気温 5℃以下、湿度 85%以上、また結露が懸念される場合は塗装を避けて下さい。

(2)パウダックスは、ゴム手袋を使用し、手を荒さないように注意して下さい。

(3)所定内の希釈量を守って下さい。水を加えすぎると本来の強度を発揮しない場合があります。

(4)下地表面の水分が引いた状態で、ラスター刷毛又は、左官刷毛等のかための刷毛を用いてすり込むように塗り付けて下さい。

(5)可使時間は 80 分(23℃)のため、混練する材料は 80 分以内で使い終る量として下さい。材料が硬化し始めた場合でも絶対に加水しないようにして下さい。

(6)作業の都合で 1 回目の塗り面が乾燥した場合は、必ず水養生（均一に水湿し）してから 2 回目を塗り重ねて下さい。

(7)塗り付け作業中も材料を時々攪拌しながら使用するようして下さい。

(8)冬期、夏期では、温度、湿度によって乾燥時間にかなりの差異がありますので注意して下さい。

(9)混練後のセメント系塗材は、指定された可使時間以内にご使用下さい。

【その他】

(1)取扱いおよび塗装作業中は、出来るだけ皮膚に触れないように防塵マスク、保護眼鏡、防塵マスク、頭巾、保護手袋、長袖の作業衣、襟巻タオル、前掛け等を着用して下さい。

(2)セメント系塗材にはセメントが含まれているので、粉体の吸い込み、アルカリ性による肌荒れ等しないように注意して下さい。

(3)取扱いおよび塗装作業後は、手洗い、うがい、鼻孔洗浄を行って下さい。

(4)目に入った場合には直ちに多量の流水で 15 分以上洗い、できるだけはやく医師の診察を受けて下さい。

(5)皮膚に付着した場合は、直ちに石鹼と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。

(6)詳しい内容が必要な場合は、製品安全データシート (MSDS) をお読み下さい。